

平成26事業年度

決 算 報 告 書

自：平成26年4月 1日

至：平成27年3月31日

国立大学法人鹿屋体育大学

(様式2-1)

## 平成26年度 決算報告書

国立大学法人鹿屋体育大学

(単位：百万円)

※記載金額は百万円単位とし、表示単位未満は四捨五入して表示

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,369	1,504	135	(注1)
施設整備費補助金	508	607	99	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	44	234	191	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	21	21	—	
自己収入	557	559	2	
授業料、入学料及び検定料収入	511	509	△1	(注4)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	47	49	3	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	28	131	104	(注6)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	36	36	(注7)
計	2,526	3091	566	
支出				
業務費	1,926	2085	159	
教育研究経費	1,926	2085	159	(注8)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	529	628	99	(注9)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	44	229	185	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	28	98	70	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	2,526	3039	513	
収入-支出	—	52	52	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、主として退職手当の繰越があったため、予算額に比して決算額が135百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、屋外競技場ICT環境の整備事業が前年度から繰越になったため、予算額に比して決算額が99百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、主として鹿屋市からの補助金が前年度から繰越になったため、予算額に比して決算額が191百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として入学料収入の減少により、予算額に比して決算額が1百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、職員宿舍貸付料収入等が見込額を上回ったため、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が104百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、当初見込んでいなかった教育研究環境整備事業を実施したため、予算額に比して決算額が36百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、退職手当支給者数の増等により、予算額に比して決算額が159百万円多額となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が99百万円多額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が185百万円多額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が70百万円多額となっています。